

森林の 案内人

Kawajiri Hideki

川尻秀樹



2011 • 国際森林年

はじめに

「ブナの実一升、金一升」、ブナの実を一升収穫できる森は、金一升到値する山の幸を産み出すとして、福島県奥会津の金山町などでこう語り継がれてきました。この言葉が示すように「森」や「山」は、あらゆる場面で人に恵みをもたらしてくれれます。

森や山に出かけることが大好きな私は、一緒に活動する仲間に、「森には不要なものはない。そこで見られる生き物はすべて、必ず何かの役に立ちながら多様な森が維持されている」と語りかけます。そこに存在する菌類や昆虫類、動物、植物、生きものすべてが、必ずほかの生きものと何らかの関係を持ち、何かの役に立ちながらバランスのとれた豊かな森をつくっています。

たとえば「きのこ」について見ると、種類によっては植物や動物の死骸を分解するお掃除屋さんの役割として、種類によっては植物の成長を助けたり、厳しい環境でも生育できるよう植物に協力したりと、さまざまな役割をもちながら植物と共存しています。つまり多様な森では、生きものすべてに役割があり、そのおかげで森や山が豊かになるのです。

ところで、私が生まれた昭和三十年代以前をふり返りましょう。当時の農山村の生活では自然に對するさまざまな知識や知恵がなければ、生活を形づくることができませんでした。人々は自然を一方

的に利用したり、破壊したりということはなく、「山や自然を敬い、いかにうまくつき合うか」という視点を持ちながら生活を営んでいました。

そこで生活する人々は生態系の一員として自然と共にあり、地域の生態系にとけ込むことで、取り尽くすことのない再生可能な生活を営んでいました。岐阜を代表する貴重種のシデコブシも、たぶんそうした中で残された遺伝資源の一つだろうと感じています。

人が一人で生きていけないように、森も木々も単一の樹木だけでは生きていきません。多様な森では空間を互いにうまく共有しながら枝葉を繁らせて、すみ分けをし、目に見えない地下では根と根を絡ませてお互いを支え合い、助け合い、多くの生きものがうまく関係し合っています。

この本を通して、豊かな森や山は人に多くの恵みをもたらし、同時に日本が、岐阜県がどれほど素晴らしい自然に恵まれているのか、またこの本を通して見られる多様な森のように、人と人も争うことなく共存できることを、読者自身に再認識してもらえると幸いです。

今回、この本を執筆させていただいた経緯は、昨年末に岐阜新聞社編集局長の山本耕さんが私の元に来られ、「来年は国際森林年なので、それにあわせて連載中の『森の案内人が行く』を本にしたい」と言われたことが始まりです。

そもそも私が岐阜新聞に連載させていたのは三回目で、最初は今から約一八年前に岐阜県林業センター（現在の森林研究所）の仲間たちと林業全般を紹介させていただいた『森と木と人』です。

次ぎに高山市にあった寒冷地林業試験場の仲間とともに森の恵みを紹介させていただいた『葉前線』、そして今から約一四年前の一九九七年五月から現在まで連載している『森の案内人が行く』です。

こうした連載を続けることができたのは、野山や川で出会った多くのみなさん、そして職場の仲間たちのお陰だと感謝しながら、再編纂に取り組んだのです。

しかし原稿をほぼ仕上げた三月十一日、東北から関東にかけての太平洋岸を「東日本大震災」が襲い、津波などによる未曾有の死者行方不明者が出、原子力発電所問題まで発生してしまいました。

「こんな非常時に原稿なんぞ書いていいのか」と、自問自答しましたが、「今だからこそ、森の大切さを伝えよう」と心に決め、出版にたどりついたのです。

最後に、わがままな私の文書におつきあいくださった岐阜新聞社のみなさん、友人であり写真の提供もいただいた藤掛雅洋さん、私のツリー・ブラザーズであり師匠でもあるジョンギャスライト博士、そして私と山や森で楽しんでくれた多くの友人、この書籍を購入してくださった読者のみなさんに重ねて感謝し、結びといたします。

森の案内人

もくじ

第一章 ● 森

国際森林年	10
森の健康診断	14
伝説の森、天生	17
森林浴	20
酸性雨を緩和するブナ林	23
檜皮職人	26
石徹白の大杉と中居神社	31
合掌造りの必需品スキ・カリヤス	35
紅葉の不思議	38
山の神と山の講	42
与岐	46
森の業師 手櫓	49
森の業師 木地屋・木地師・轆轤師	54

第二章 ● 樹木

里山の産物「粗朶」	58
木材搬出のための木馬	61
春木と春木山	67
田打ち草・花・桜	70
アカマツと三階松	74
アカメガシワ	76
イタヤカエデ	79
イチイ	82
カツラ	88
キハダ	90
キリ	93
クスノキ	95



ホオノキ	150	クリ	99
ブナ	145	クロモジ	103
ネムノキ	141	サカキ	105
ヌルデ	138	シキミ	108
ナツツバキ	135	シデコブシ	112
トチノキ	130	シナノキ	115
ツブラジイ	126	シラカンバ	117
タムシバ	123	ソヨゴ	120
ツブラジイ	126	タムシバ	123



第三章●生物

トンボ	203	マルバノキ	153
ギフチヨウ	200	マンサク	156
カシノナガキイムシ	196	ミツバツツジ	160
アサギマダラ	193	リヨウブ	163
森林と水生昆虫	189	アユ(鮎)	168
モリアオガエル	185	イワナ	174
カゲロウやカワゲラたち	182	オオサンショウウオ	179





第四章●山の恵み



フキノトウ	260
ネマガリダケ	258
ゼンマイ	254
ギボウシ	249
ウド	246
イタドリ	243
アケビ	240

スズメバチ	208
イノシシ	213
ノウサギ	217
オシドリ	221
クマ(熊)	224
ニホンザル	230
ホンシユウジカ	233



マタタビ	264
ミヨウガ	267
ワサビ	270
ワラビ	273
生態系に必要なきのこ	277
菌の種類	277
生態系に必要なきのこ	281
樹木と共生する菌根菌類	281
エノキタケ	284
ナメコ	286
ナラタケ	289
ヒラタケ	291
ベニテングタケ	294
マイタケ	297
ムキタケとツキヨタケ	299

